



愛知県

Aichi Prefectural Government

防災情報

観光情報

事業者・  
就業者の方向け

目的からさがす

組織からさがす

分類からさがす

現在地 [ホーム](#) > [組織からさがす](#) > [埋蔵文化財調査センター](#) > お知らせ

## お知らせ

### 緊急情報

2020年3月17日更新  
[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報\(特設サイトへ\)](#)

ページID : 0366505 掲載日 : 2022年5月9日更新

【令和3年度】

### 秋の特別公開2021を開催します。

調査研究課の城ヶ谷です。

今年度も愛知県埋蔵文化財調査センター「秋の特別公開2021」を開催します。

今年のテーマは「戦国期を彩る逸品」です。特別開館日には「拓本講座」も行います。



期間 令和3年11月4日(木曜日)から11月12日(金曜日)まで

時間 午前9時から午後4時まで

場所 当センター2階 \* 入場無料

特別開館日 11月6日(土曜日)・7日(日曜日)

午前10時から午後4時まで 拓本講座実施 参加無料・事前申込み不要

\* (公財)埋文センターオープニングイベント『びっくり!まいぶん やとみ城』もおこなわれます。  
新作ゲーム『戦国愛知!城取り輪投げ~英雄たちの夢~』が初登場!



今回は、期間中、戦国期を中心に普段あまり展示できない金属製品や木製品を展示します。

写真はその中の一点である瀬戸市桑下城跡出土の「菊花双鶴鏡(きくかそうかくきょう)」です。室町時代に製作された和鏡ですが、とても保存状況が良く、鏡面はつるつるです。

同じような意匠や文様を持つ和鏡が、和歌山県速玉大社所蔵の国宝古神宝の和鏡十八面の一つである「菊唐草双鶴鏡」です。これらの和鏡は明徳元(1390)年、足利義満らにより納められたもので、14世紀半ば頃に京都の工房で作られたものと考えられています。桑下城の鏡も同じ頃に京都の工房で作られたものかもしれません。

この鏡は本丸北側の北東堀(箱堀)埋土下部から、ななめに立った状態で出土しました。本丸から投げられたか、転落した状況が考えられます。

桑下城跡は、**文明14（1482）年**に永井民部によって築かれたとされています。戦国期、品野一帯は尾張織田勢と三河松平・今川勢の国境として、争奪が繰り返されていましたが、**永禄3（1560）年**、織田信長の品野城攻めで、品野三城（品野、桑下、落合）が焼失、落城したとされています。同年、桶狭間の戦いの敗戦により今川勢が衰退して、**桑下城は廃城**となったとみられています。

さて、この鏡の所有者は誰で、どのようにして城の堀に埋没することになったのでしょうか。

同じフロアで（公財）埋文センター秋の埋蔵文化財展2021「発掘された愛知の城」 桑下城跡出土菊花双鶴鏡と陶製水滴の展示もご覧いただけます（入場無料）。

ぜひ当センターにお越しください！ [チラシ \[PDFファイル/418KB\]](#)

## 秋の埋蔵文化財展に向けて展示替えを行っています。

調査研究課の尾崎です。

現在当センターでは、秋の埋蔵文化財展に向けて資料管理閲覧室で展示替えを行っています。そのため、11月3日（水曜日）まで資料管理閲覧室の見学はできなくなっております。御了承ください。

また収蔵庫Cで行っている常設展示ですが、10月7日（木曜日）まで見学が可能です。こちらの部屋でも10月8日（金曜日）以降は展示替えを行いますので、11月3日（水曜日）まで見学ができなくなります。

御不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

## 須恵器、山茶碗 資料館に行こう！

調査研究課の城ヶ谷です。

8月も後半になりました。せっかくの夏休みですが、コロナ禍の今、県を超えての移動自粛が求められています。

そんななかで、お出かけ先として当センターが資料をお貸ししている二つの資料館の企画展を紹介したいと思います。コロナ対策をしてお出かけください。

### ○みよし市歴史民俗資料館夏季企画展「シリーズ猿投窯の歴史を探る1 猿投開窯」

猿投窯（さなげよう）は名古屋市東部からみよし市・豊田市など20km四方の丘陵地帯にある古代須恵器・灰釉陶器（かいゆうとうき）窯600基以上、中世山茶碗窯400基以上、計**1000基以上の窯**からなる窯場であると考えられています。

5世紀の開窯以来、14世紀に至るまで約千年の長きにわたって連続と操業を続けていた国内でも稀有な窯場です。

今回は、5世紀に開窯してから6世紀代に至る古墳時代の生産を中心とする展示です。

当センターからは名古屋市北区志賀公園（しがこうえん）遺跡から出土した猿投窯最古に遡ると考えられる須恵器群をお貸ししています。

展示は令和3年9月12日までです。ぜひご覧になってください。

写真右：志賀公園遺跡出土須恵器脚付壺



### ○幸田町郷土資料館企画展「幸田の山茶碗」

山茶碗（やまぢゃわん）は平安時代末から室町時代にかけて東海地方一円で使われた無釉の陶器で碗、皿、鉢などがあります。

名前の由来は、山に行くと（窯があってそこに）普通に落ちているというようなことから「山茶碗」と呼ばれるようになったといわれています。実は山茶碗は山だけでなく、畑などでもよく落ちています。



山茶碗の窯は大きなもので幅3m、長さ10mもあり、同じ器種を何枚も重ね焼きするので、一度に千点以上の製品が焼成されたと思われます。

主な産地は県内では猿投窯、瀬戸窯の他、知多半島、渥美半島でも生産が行われていました。常K-G-93号窯出土山茶碗

滑窯のある知多半島では中世の窯が約1200基(一説には3000基)もあったと想定されています。

その生産量は膨大なものであったと考えられ、山茶碗は県内どこにでも落ちていることになります。

西三河では幸田町北部から岡崎市南部にかけて山茶碗窯があり、幸田窯と呼ばれていますが、これまで窯体の調査例がなく実態がよく分かっていません。今回の展示をご覧になると幸田窯の輪郭が少しでもわかるかもしれません。

当センターからは幸田町牛ノ松遺跡・東光寺遺跡、みよし市KG-93号窯出土の山茶碗をお貸ししています。

展示は令和3年9月5日までです。ぜひご覧になってください。

## 令和3年度高校生のための考古学サマーセミナー 受講生募集！

令和3年度高校生のための考古学サマーセミナーを開催します。

考古学や発掘調査の方法などについて、学ぶことができる！

出土した土器や石器に直に触れることができる！

また、出土品の整理作業や遺物の保存・科学分析室、巨大な収蔵庫など普段目に見ることができない施設のあちこちを見ることができる！

考古学や歴史を学ぶことの楽しさ、意味を理解し、自らのキャリア形成について考える機会を提供します。

### 1 対象

県内の高校生 20名程度 参加無料

\*応募者多数の場合は抽選になることがあります。

### 2 日時

令和3年8月5日(木曜日) 午前10時から午後4時まで



### 3 場所

愛知県埋蔵文化財調査センター 2階研修室ほか

### 4 内容及び申込み方法

個人またはグループで直接当センターに申し込んでください。

詳細は下の要項等をダウンロードしてご覧ください。

### 5 申込締切

令和3年7月21日(水曜日)



### 6 その他

・新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、中止する場合があります。

[実施要項 \[PDFファイル/145KB\]](#)

[申込書 \[Excelファイル/31KB\]](#)

写真 上：講義風景 下：施設見学

[チラシ \[PDFファイル/444KB\]](#)

## 課の名称が変更になりました

令和3年4月1日付けで課の名称が、「総務調査課」から「調査研究課」に変更になりました。

これまでどおり、埋蔵文化財の調査研究と埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努めるとともに、文化財の活用が求められている昨今、研究面での充実を図りたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 「春の特別公開2021」開催します！

調査研究課の城ヶ谷です。

4月1日から、当センター2階展示フロアで「春の特別公開2021」を実施します（休日は閉館）。

テーマは「収蔵庫に眠る逸品たち2」で、当センターが所蔵する県内各地の遺跡から出土した**1万箱を超える出土遺物のなかから、形がよくわかるものや特徴的なもの、希少なもの**を中心に選定し、特別に公開します。

今回は次の4点を展示します。入館は無料です。

ぜひ、ご覧になってください。

### 【 収蔵庫に眠る逸品たち2 】

弥生土器 手焙り形(てあぶりかた)土器

五反田(ごたんだ)遺跡 (安城市)

3世紀

弥生時代の終わりから古墳時代初めの限られた時期に見られる特殊な土器です。

「手焙り形」と呼ばれますが、どのような使い方をしたのかはわかっていません。

方形周溝墓(ほうけいしゅうこうぼ)の周溝から出土しました。



須恵器 長頸瓶(ちょうけいへい)

金萩(かなはぎ)遺跡 (日進市)

8世紀後半

猿投(さなげ)窯の陶器生産に関わっていた集落遺跡とされる金萩遺跡から出土しました。

長頸瓶は平城京などでも出土する奈良・平安時代の猿投窯の代表的な製品です。

この長頸瓶は全体的に赤黒く発色し、肩の部分に濃緑色の自然釉(しぜんゆう)がかかる優品です。



黄瀬戸(きせと) 大鉢(おおばち)

清洲城下町(きよすじょうかまち)遺跡 (清須市)

16世紀末



後期清須城の時期の溝から出土しました。

内面に草文が刻されており、文様の部分に「タンパン」と呼ばれる緑色の硫酸銅(りゅうさんどう)が施されています。

安土桃山時代に美濃窯の大窯(おおがま)で焼成されたものと思われます。



#### 有田(ありた) 色絵婦人座像(いろえぶしんざぞう)

名古屋城三の丸(なごやじょうさんのまる)遺跡 (名古屋市)

17世紀後半

名古屋城三の丸郭内にある尾張藩重臣の武家屋敷地から出土しました。

江戸時代前半の「柿右衛門人形(かきえもんにんぎょう)」と呼ばれるもので、立像が多いなか、数少ない座像です。

また、このような完形に近い形で遺跡から出土することはほとんどなく、貴重な例です。

同じフロアで、(公益財団法人)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センターによる春の埋蔵

文化財展「やとみ新発見展`2021」も同時開催しています。

昨年度、埋蔵センターが県内各地で発掘調査した遺跡についての最新の展示です。こちらをあわせてご覧ください(入場無料)。

【終了しました】

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の点にご協力をお願いします。

- ・発熱、風邪の症状のある方又は体調のすぐれない方はご来館をお控えください。
- ・入口に消毒液を用意しておりますので、必ず手指消毒を行ってください。
- ・緊急時の連絡のため、入館者名簿にご記入をお願いします。
- ・入館中は、マスクのご着用及び人と人との間隔をできるだけ2m以上確保してください。

## 関連コンテンツ

- ・愛知県埋蔵文化財調査センター
- ・[事業の内容](#)
- ・[利用の案内](#)
- ・[アクセスマップ](#)
- ・[アーカイブ](#)
- ・[お知らせ](#)
- ・[活動報告](#)



PDF形式のファイルをごいただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。  
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。(無料)

[Tweet](#)

[LINEで送る](#)

[このホームページについて](#) | [個人情報の取扱い](#) | [免責事項・リンク](#) | [RSS配信](#)

## 愛知県

法人番号1000020230006

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

Tel: 052-961-2111 (代表)

**開庁時間**：午前8時45分から午後5時30分

(土曜・日曜日・祝日・12月29日から1月3日を除く)

※開庁時間の異なる組織、施設があります。

[県機関への連絡先一覧](#)

[県庁へのアクセス](#)

Copyright Aichi Prefecture. All Rights Reserved.